

「添田町ICTオープンスクール」 の概要について

1. (一社)九州テレコム振興センター (KIAI) について

組織・地域の垣根を越え、九州の情報化を幅広い観点から推進していくことを目的として設置された社団法人で、現在、情報通信分野に関する約210の産学官組織が参画しています。

●調査研究事業

- 九州地域ICT利活用調査研究活動
- 九州広域防災ポータルサイトの開発
- 小型気球を活用した無線ネットワークの構築実験
- 九州地域ホワイトスペース利活用検討研究会

●人材育成事業

- 九州ICTオープンスクール
- 自治体職員研修 等

●普及啓発事業

- 九州地域情報化研究会
- ICT利活用推進セミナー
- その他各種講演、セミナー、シンポジウム 等

●コンサルティング事業

- 防災GIS構築運用業務
- コミュニティFM設計調査業務
- 地域情報化基本計画策定業務 等

2. (一社)九州テレコム振興センター (KIAI) ロゴについて

KIAI

Kyushu Island Alliance of ICT



**3本のリングは、
産・学・官 を
表現しています。**

**白い点は、穴を表現しています。これには
様々な組織の壁に風穴を開け、垣根を超えた連携を
進めていこうとする思いが込められています。**

3. 九州地域 I C T 利活用調査研究活動概要について

地域にとって本当に必要とされている
I C T の利活用とは？

＊地域関係者と一緒に一定期間、継続して、
地域に密着した地域情報化推進事業を実施

現状課題分析等

地元住民等を交えたタウンミー
ティング等、地域社会に
踏み込んだ調査の実施

アンケートによる地域住民の
意識調査

啓発イベント、シンポジウム等
の実施

【これまでの実施地域】

- ◆鹿児島県肝属郡肝付町
- ◆佐賀県佐賀市富士町
- ◆熊本県球磨郡湯前町
- ◆福岡県田川郡添田町
- ◆宮崎県児湯郡西米良村

当該結果を幅広く公開
⇒九州地域の更なる I C T 利活用拡大支援

4. 添田町情報化推進勉強会について

●活動目標

ブロードバンドインターネットの普及、並びに様々な分野におけるICT利活用促進に向け、町内外の幅広い関係者を交えての勉強会活動を行い、当該活動を通じて形成される新たな地域コミュニティ等を母体とし、これからの添田町における地域情報化関連事業を、持続・継続的に進めていくことができる体制作りを目指していきます。

●これまでの活動概要

- 意見交換会（タウンミーティング）、住民アンケート
- インターネット体験教室、ソーシャルメディア活用セミナー
- **九州ICTオープンスクールin添田**
- 「英彦山サイクルタイムトライアル大会」インターネット中継
- 「ひこちゃん ゆずちゃんWebフォトコンテスト」



5. 九州ICTオープンスクールについて

主に九州内の大学（院）、並びに高専の学生を対象とし、地域情報化の現状課題等について直接体験できる機会を提供し、当該課題解決に関する企画案を参加学生が連携しながら検討していくワークショップ形式の人材育成事業です。

本事業を通じ、学校、地域の垣根を越え、九州内の様々な学生が相互交流できる場を創出するとともに、そういった若手のICT人材を中心とした九州における新たな産学官連携の取り組みを図っていくことも目的としています。



【過去実績】

• H19年度（福岡市）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、九州産業大学、佐賀大学、大分大学、宮崎公立大学

• H20年度（佐賀市）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、佐賀大学、長崎大学、熊本大学、宮崎公立大学、鹿児島大学

• H21年度（北九州市）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、九州産業大学、北九州市立大学、佐賀大学、長崎大学、大分大学、熊本大学、宮崎公立大学、鹿児島大学

• H23年度（宮崎県美郷町）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、九州産業大学、佐賀大学、大分大学、崇城大学、宮崎大学

• H24年度（福岡県添田町）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、九州産業大学、佐賀大学、長崎総合科学大学、大分大学、宮崎公立大学、鹿児島大学

• H25年度（熊本県湯前町）

[参加大学] 九州大学、九州工業大学、福岡工業大学、佐賀大学、長崎総合科学大学、大分大学、宮崎大学、鹿児島大学

6. 九州ICTオープンスクールin添田について

●主な内容

- ①添田町における現状の地域課題について、事前に参加学生に資料を送付し、事前学習をしてもらいました。（事前に4グループに分け、それぞれのグループに個別の課題を検討してもらいました。）
- ②初日は、各グループに、添田町役場、添田町商工会、地域住民の方々に参加していただき、現地の生の実情を聞いていただきながら、様々な意見交換を行いました。
- ③その後、各グループにて、具体的な課題解決企画案について検討していただき、最終日（2日目）に当該企画内容の発表を、質疑応答を交え、添田町内外関係者に対して行いました。



●各グループの発表内容

Aグループ：「非常災害時における防災」

山間部において、アクセスポイント機能を有した車両を介して、災害時でも安定した通信を提供。

システム名 CAP：Car Access Point

Bグループ：「高齢者に元気になってもらうシステムの開発」

添田町の高齢者の高齢者による高齢者のための対策として高齢者がその知識や技術で活動できるサークルを設立。

サークル名 POPS：Powerful Old People Soeda

Cグループ：「そうだ添田に行こう」

添田町のことを知ってもらい、かつ実際に観光に来た際に役に立つアプリケーションの開発。

Dグループ：「ここだそえだ！」

公開されているSNSのテンプレートを基に新しいSNSを開発。



7. 添田町ICTオープンスクールの実施について



「九州ICTオープンスクール」は毎年各地域で開催している人材育成事業ですが、毎回、参加学生の斬新なアイデアから生まれる企画案が大きなヒントを与える例も多く、いわゆる「よそ者」「若者」がうまく融合し、大変有意義な結果をもたらしてきました。

とはいえ、近隣に大学がある地域というのはそう多くはなく、また、本事業をひとつの地域で継続して実施していくことも困難です。

添田町には、近隣に複数の大学があるため、添田町をフィールドとした独自のオープンスクール事業が今後とも継続して実施できるのではないかと考えました。

本オープンスクール事業の実現により、地域課題に対する新しい視点に基づく企画検討が行えることはもとより、本事業をきっかけとし、地域と大学との間における新たな様々な連携活動創出にも寄与できるのではないかとわれ、平成25年度から試験的に実施を進めてきました。

8. 添田町ICTオープンスクール実施イメージ（H25年度版）

添田町オープンスクール
参加メンバー

添田町役場：
適宜、提供可能な資料等の提供

【添田町の抱えている課題】
・町役場と「現状課題」の説明会・意見交換会

・町関係団体、住民の方々との意見交換会
(※添田町役場、KIAI側で上記の場をセッティング。)

◆具体的な「検討テーマ」の確定

両大学生は、メール、テレビ会議、
打合せの場を調整する等、工夫して実施。
(※可能な限り支援致します。)

◆検討作業
・福岡県立大学：具体的なサービス（事業）の検討等
・九州工業大学：サービス実現のためのシステム設計等
検討期間：1～2ヶ月程度

添田町役場：
検討結果を町の施策へ反映の
検討

◆発表会
・検討結果プレゼンテーション
(添田町役場、KIAI側で上記の場をセッティング)

9. 平成25年度 添田町ICTオープンスクール 活動模様①

●平成25年11月15日 オープンスクール・キックオフ（発足式）

- ・開催挨拶
- ・参加学生自己紹介
- ・添田町現状説明（町の概要、福祉関連の現状説明）
- ・質疑応答
- ・閉会（宿泊：英彦山温泉しゃくなげ荘）
11月16日
- ・翌日 英彦山登山・町周辺視察・物産館・解散



9. 平成25年度 添田町ICTオープンスクール 活動模様②

- 平成25年11月25日 第一回検討会（福岡県立大学）
- 平成25年12月3日 第一回意見交換会（添田町役場）
- 平成25年12月4日 第二回意見交換会（元気倶楽部訪問）
- 平成25年12月9日 第二回検討会（福岡県立大学）
- 平成25年12月17日 第三回意見交換会（添田町役場）
- 平成25年12月18日 第三回検討会（福岡県立大学）
- 平成26年1月14日 中間成果発表会（福岡県立大学）
- 平成26年2月5日 最終成果発表会（添田町オークホール）



【第二回意見交換会風景（元気倶楽部訪問）】



【中間成果発表会風景】

9. 平成25年度 添田町ICTオープンスクール 活動模様③

平成26年2月5日 最終成果発表会（添田町オークホール）

- A班 発表テーマ 「そえだんす」
概要：添田町での幅広い年齢層の交流、地域の高齢者の交流促進をより一層図っていくため、添田町独自のダンスの創作、発表会の開催を提案
- B班 発表テーマ 「ボランティア団体「語らん会」」
概要：ボランティア活動をしたいと考えている高齢者の力をを上手く活用し、お年寄りが、お年寄りを支えるボランティア団体の設立を提案
- C班 発表テーマ 「やまぶし修行体験ツアー」
概要：若者の登山ブームに着目し、英彦山ならではの「山を知り、山に挑む」をテーマとした新たな観光プランを提案



10. 平成26年度 添田ICTオープンスクール・スケジュール（案）

日程	内容	備考
10月上旬～中旬	概要説明	各大学メンバー応募
10月中旬	オープンスクールメンバー編成（選出）	4～5名/班 ※参加数にて確定
11月上旬	キックオフ （添田町現状課題説明会、メンバー顔合せ）	添田町内視察（一泊）予定
11月以降	適宜、添田町現状課題に関する意見交換会、 検討会を実施	意見交換会、検討会に関する費用等 は添田町及びKIAIで準備
12月中旬	検討成果・中間発表会	中間報告等を兼ねる
1月中～下旬	検討成果発表会	場所：添田町で実施 参加者オープン

問合せ先【添田町情報化推進勉強会事務局】

（一社）九州テレコム振興センター（KIAI）



〒860-0016 熊本市中央区山崎66番7号 熊本中央ビル7F

TEL：096-322-0120 FAX：096-321-0186

E-Mail：iim@kiai.gr.jp [担当] 広岡